

The 3rd Symposium on Ubiquitous Health/Medical Treatments 第3回ユビキタス健康医療シンポジウム

主催：総務省

共催：財団法人テレコム先端技術研究支援センター

日時：平成21年3月11日(水) 13:30～18:00

会場：コクヨホール

参加費：無料



我が国の医療現場は、患者数に比べて医療従事者が少なく、医療従事者一人当たりの業務負担が過大である。(財)日本医療機能評価機構の平成19年度年報によれば、医療事故は1,266件、ヒヤリ・ハット事例は21万件近くにのぼっており、医療従事者の業務支援と医療のより高い安全性の確保のための取組が急務である。これらの課題に資するため、電子タグ・センサーネットワーク・無線LAN・UWB等のユビキタスネット技術や、セキュリティの高い多様なブロードバンドネットワーク等の活用が期待されている。

そこで、我が国の健康医療分野におけるユビキタスネット技術の有効な活用方策について情報交換するとともに、ネットワークを用いた個人や医療機関等による健康情報(診療情報・健診情報等)の活用等について議論を行うことを目的とする。

どなたでもご参加いただけます。事前に参加登録してください
お申し込みはwebのみの受付となります。

URL:<http://www.scat.or.jp/sympo/iryuu/registration.html> よりお申し込みください。
定員に達し次第締め切らせていただきます。



会場：東京都港区港南1-8-35

TEL03-3450-3712

JR品川駅中央改札口より徒歩10分

品川駅港南南口より徒歩2分

【問合せ先】

ユビキタス健康医療シンポジウム事務局
(財団法人テレコム先端技術研究支援センター内)
担当：瀬戸
電話：03-3351-8423 mail：shma@scat.or.jp



プログラム(仮)

13:30	開会挨拶 石崎 岳 総務副大臣(調整中)
13:40	基調講演 田中 博 東京医科歯科大学 情報医科学センター長 教授 「ユビキタス医療ICTの展望—医療安全から生涯健康管理まで」
講 演	
14:05	大道 道大 社団法人日本病院会常任理事 「病院におけるITの活用と課題」
14:25	山元 友子 NTT東日本関東病院看護部長 「急性期病院における医療の現状 ～看護の立場から」
14:45	近藤 克幸 秋田大学 医学部附属病院医療情報部 教授 「電子タグによる薬剤個別トレーサビリティ—電子カルテとの融合活用による市販後調査への応用—」
15:05	小暮 潔 株式会社国際電気通信基礎技術研究所 知識科学研究所 所長 「ユビキタスネット技術に基づく看護業務の記録・分析」
15:25	山本 隆一 東京大学大学院情報学環 准教授 「国民視点の健康情報活用基盤の実現」
15:45	休 憩
パネルディスカッション	
16:10	テーマ:「医療のより高い安全性・信頼性の向上に向けて」 (コーディネータ) 田中 博 東京医科歯科大学 情報医科学センター長教授 (パネリスト) 大道 道大 社団法人日本病院会常任理事 山元 友子 NTT東日本関東病院看護部長 山本 隆一 東京大学大学院情報学環准教授 近藤 克幸 秋田大学医学部附属病院医療情報部教授 般谷 徹 田辺三菱製薬株式会社経営戦略部参事 秋葉 淳哉 日本電信電話株式会社研究企画部門プロデューサー 富澤 一郎 厚生労働省医政局医療機器・情報室長 片淵 仁文 総務省 情報流通行政局情報流通高度化推進室長
18:00	閉会

※ 内容は変更する場合がございます。